

令和2年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	01	104380	先人顕彰推進事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	02	先人の顕彰			
目的	花巻ゆかりの先人紹介					
対象	市民、観光客					
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。 観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要	<p>共同企画展 3,010千円 令和2年12月5日から令和3年1月24日に開催 企画展開催館5館 ( 萬鉄五郎記念美術館、花巻新渡戸記念館、博物館、総合文化財センター、高村光太郎記念館 ) 市内先人顕彰施設にて花巻ゆかりの先人について同時期に企画展を行う。</p> <p>先人顕彰ギャラリー展 6千円 まなび学園、大迫、石鳥谷、東和図書館で開催 功績を残しながらも埋もれている花巻の先人を広く市民へ紹介する。</p>					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	共同企画展の開催館数	館	計画	5.00	5.00	
			実績	5.00	5.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	共同企画展入場者数	人	目標	5,000.00	5,000.00	
			実績	3,239.00	1,737.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
共同企画展の開催館数は昨年度と同数で実施できたが、コロナウイルスの影響もあり、来館者数は減少した。企画展の内容としては、アンケート結果から来館者の満足度も高かった。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	市内各施設の企画展の開催時期を合わせることで、来館者へのサービスを図るもので公共関与は妥当である。先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	知られていない先人は多く、市民へ広く紹介する機会を設ける。企画展の内容について連携することにより、市民をはじめ、より多くの来館者が訪問しやすくなる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、改めて郷土に目を向け故郷の良さを再発見し愛着を持つようになった。
	次年度に向けて	まだ知られていない先人の多くおり、この先人たちの偉業を調査・掘り起こしをし、広く市民へ紹介する機会を提供する。

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	06	104500	宮沢賢治普及・啓発事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興		
	施策	02	先人の顕彰				
目的	宮沢賢治に関する研究・創作等の資料を収集・整理・保存し、公開するとともに、調査研究を行うことにより賢治の普及・啓発を図り、広く学術及び文化の発展に寄与する。						
対象	市民、観光客及び全国の賢治研究者・愛好者等						
意図	宮沢賢治に関する情報の収集・提供や研究者・愛好者の交流により、賢治作品や研究成果にふれ、賢治の人と作品に対する理解を深めていただく。						
事業概要	宮沢賢治学会イーハトーブセンター事業補助 5,048千円 ・宮沢賢治に関する資料・情報の収集及び提供 ・定期大会、研究発表会・シンポジウム等の開催 ・研修会・講座等の開催 ・会員間の情報交流、研究活動への協力 ・宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考、学会功労賞の選考・決定 企画展の開催（宮沢賢治学会イーハトーブセンター委託） 905千円 ・応募企画展						
市民参画の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	企画展開催回数		回	計画	3.00	5.00	
				実績	2.00	4.00	
2	賢治セミナー開催回数		回	計画	5.00	5.00	
				実績	5.00	0.00	
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	入館者数		人	目標	28,000.00	26,000.00	
				実績	26,828.00	15,699.00	
2	セミナー出席者数		人	目標	500.00	500.00	
				実績	540.00	0.00	
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、セミナーを開催できないことに加え、入館者についてもその影響で激減した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	学会は、市民からの提言をもとに、平成2年に「ふるさと創生事業」として設立されたものである。学会は、宮沢賢治の人と作品の普及に多大な寄与をしており、今後も学会が重要な役割を果たすものと思料されることから、公共関与は妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	興味・関心の深いセミナーや企画展等を実施し、広報・PRを充実することにより、来館者数の減少を食い止め、セミナー出席者数の増加を図りたい。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	今までに市正職員の配置を無くし、学会職員に切り替えこの給与の補助をするなど事業費・人件費の削減に取り組み、最小限の経費と人員で実施していることから、削減できる余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	イーハトーブ館条例の設置目的等を踏まえ、宮沢賢治に関する講演会、研究会等に使用するほか、市民の学術・文化の発展に寄与する事業に使用するなど、統一した取扱いをしている。また、目的以外使用の使用料の取扱いを定め、統一的に運用している。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	イーハトーブ館に宮沢賢治に関する図書・資料・論文等の情報が収集・保存・整理され、この情報を提供することにより宮沢賢治の情報拠点として重要な役割を果たされた。今年度は、セミナー、研究会等は開催できず、また、企画展についても予定していたものがすべて実施することができなかったことから、調査研究が深めることができなかったことに加え、賢治を学ぶ場の提供をすることができなかった。
	次年度に向けて	イーハトーブ館に宮沢賢治に関する図書・資料・論文等の情報を収集・保存・整理され、この情報を提供することにより宮沢賢治の情報拠点として重要な役割を果たしていく。また、企画展やセミナー、研究会等を開催することにより調査研究を深め、賢治を学ぶ場の提供することにより、市民を始め全国から多くの方々から来館され、賢治を学びながら、交流を深める。

令和2年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	07	104530	新渡戸記念館企画展示事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	02	先人の顕彰			
目的	新渡戸家及び新渡戸家ゆかりの先人とその業績を紹介する。					
対象	一般市民及び県内外の観光客					
意図	江戸時代以降の花巻発展に貢献した新渡戸家や新渡戸稲造を顕彰・紹介し、花巻の歴史の一端を市民に触れてもらうとともに、観光客にも本市をPRする機会とする。					
事業概要	<p>特別展の開催 1,155千円 ・常設展とは別に、年間を通して特別展を3回開催した。</p> <p>新渡戸教室開催等の教育普及事業 73千円 ・市内だけでなく市外の学校にも出前講座を開催した。 ・市内の振興センターへ働きかけ、高齢者学級や女性学級に活用していただくようにした。 ・一般の市民を対象にした「新渡戸教室」を開催した。</p>					
市民参加の有無	無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	行事開催数	回	計画	10.00	10.00	
			実績	10.00	7.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	入館者数	人	目標	20,000.00	20,000.00	
			実績	11,559.00	5,356.00	
2	生涯学習に利用した小中学校数 / 市内小中学校数	%	目標	27.00	27.00	
			実績	20.00	36.00	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
<p>入館者数の推移                      H28年度 14,707人(41人/日)                      H29年度 13,118人(37人/日)                      H30年度 12,805人(36人/日)                      H31年度 11,559人(32人/日)                      R2年度 5,356人(15人/日)</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で入館者は減少し、例年の半数以下となった。 生涯学習に利用した小中学校は例年7校前後。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で11校が利用した。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	学校の教科書では中々習うことの少ない新渡戸氏やそのゆかりの先人に知ることが、郷土の歴史に触れ地元愛を醸成するとともに、県内外の観光客に対しても花巻市をアピールする効果もあり、市の業務とするのは至当である。
	妥当である	
有効性	見直し余地がある	
	見直し余地がない	
効率性	成果の向上余地	平成3年に開館してから、市民の間においてはまだ十分に浸透していない状況が見受けられるので、周知の工夫やイベントを充実させればまだ向上する余地はあると思われる。
	向上余地がある	
公平性	向上余地がない	
	事業費・人件費の削減余地	休館日は年末年始のみという中、正職員2名（事務職と学芸員の各1名）、非常勤職員1名（館長）の体制で運営しており、これ以上の削減は困難である。
総合評価	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
今年度の振り返り	どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	市内外を問わず入館者に対して、原則同一料金をいただいております。
次年度に向けて	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
<p>市民に地域の歴史や文化を紹介するため、新田開発などで活躍した新渡戸氏や、新渡戸氏ゆかりの先人を展示し、郷土の歴史や先人の業績に対する理解を深めた。しかし、コロナウイルスの影響で定例となっている無料公開など3行事は開催できなかった。</p>		
<p>開館30周年記念行事として新渡戸家と関わりのある人物についての特別講演会を開催する。</p>		

令和2年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	07	104540	新渡戸記念館整備事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	02	先人の顕彰			
目的	新渡戸家及び新渡戸家ゆかりの先人とその業績を紹介する。					
対象	一般市民及び県内外の観光客					
意図	江戸時代以降の花巻発展に貢献した新渡戸家や新渡戸稲造を顕彰・紹介し、花巻の歴史の一端を市民に触れてもらうとともに、観光客にも本市をPRする機会とする。					
事業概要	空調機器及び配管等一式の更新（繰越明許費） 38,412千円					
市民参加の有無	無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	整備事業実施件数	件	計画	1.00		
			実績	0.00	1.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
当館を整備することでこの事業の意図は達成できるため、成果指標は設定しない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	学校の教科書では中々習うことの少ない新渡戸氏やそのゆかりの先人に知ることは、郷土の歴史に触れ地元愛を醸成するとともに、県内外の観光客に対しても花巻市をアピールする効果もあり、市の業務とするのは至当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	平成3年に開館してから、市民の間においてはまだ十分に浸透していない状況が見受けられるので、周知の工夫やイベントを充実させればまだ向上する余地はあると思われる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	休館日は年末年始のみという中、正職員2名（事務職と学芸員の各1名）、非常勤職員1名（館長）の体制で運営しており、これ以上の削減は困難である。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内外を問わず入館者に対して、原則同一料金をいただいております。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	花巻新渡戸記念館は平成3年に整備された施設であり、整備後28年が経過している。平成30年度は屋根及び排煙窓の改修を行った。令和元年度は空調機器及び配管等一式の更新をする予定であったが、今年度へ繰り越され完成した。当事業の実施により、設備機能の保全・向上や施設の長寿命化が図られ、来館者の満足度が向上した。
	次年度に向けて	開館以来使用している高圧受変電設備（キュービクル）を更新する。

令和2年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	11	104640	高村光太郎記念館企画展示事業費
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興
	施策	02	先人の顕彰		
目的	高村光太郎の紹介				
対象	市民、観光客				
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。 観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。				
事業概要	高村光太郎に関する企画展 1回 446千円 企画展「高村光太郎とホームスパン」 期間 令和2年10月5日～11月23日  高村光太郎記念館講座と企画展示 1回 121千円 高村光太郎と高村光雲の作品について、専門家の解説と鑑賞				
市民参加の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成			委託
活動指標			単位	区分	H31 R02 R03
1	企画展示の回数	回	計画	1.00	2.00
			実績	1.00	1.00
2			計画		
			実績		
3			計画		
			実績		
成果指標			単位	区分	H31 R02 R03
1	入館者数	人	目標	15,000.00	15,000.00
			実績	10,146.00	6,207.00
2			目標		
			実績		
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
企画展については、例年県内外の来館者から人気があるが、コロナウィルス感染症の影響もあり1回のみ開催となったが、アンケート結果によると当該企画展を常設としてほしいなどの声も多く、満足度は高いものとなった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	展示内容の充実を図ることにより、入館者が増加すると判断した。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	芸術家高村光太郎も愛した郷土に目を向け、故郷の良さを再発見し愛着を持つように努めた。
	次年度に向けて	高村光太郎の偉業を調査し広く市民へ紹介する機会を提供する。

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	16	124620	賢治のまちづくり推進事業費
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興
	施策	02	先人の顕彰		
目的	賢治さんの香りあふれるまちづくり				
対象	市民、観光客				
意図	賢治や賢治の生誕地である花巻の魅力を感じている				
事業概要	賢治のまちづくり推進事業		27,234千円		
	賢治を学ぶ場づくり		9,419千円		
	宮沢賢治賞・イーハトーブ賞、賢治セミナー、「賢治の世界」セミナー・ワークショップ、特別展				
	賢治イベントの開催		15,457千円		
	宮沢賢治生誕祭全国俳句大会、賢治フェスティバル				
	賢治の香りあふれるまちの整備		237千円		
賢治アートストリート事業、イギリス海岸リーフレット					
賢治情報の発信		2,121千円			
賢治カレンダー					
市民参加の有無	対象外				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成
活動指標		単位	区分	H31	R02
1	セミナー等開催数	回	計画	50.00	50.00
			実績	36.00	27.00
2			計画		
			実績		
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	H31	R02
1	日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れることがあると思う市民の割合	%	目標	68.00	61.00
			実績	59.90	48.90
2			目標		
			実績		
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	
				目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
平成26年度以降は概ね60%前後で推移してきたものの、前年度と比較して11%低下した。まちづくり市民アンケートに本項目が設けられて以降、これほどの減少は初めてのことであるが、要因として、感染症拡大の影響で賢治イベントの中止や縮小を余儀なくされたことにより、宮沢賢治に触れる機会があると感じた市民の割合が減少したものと思われる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	賢治について学び、賢治に触れる機会や場を提供することによって、より多くの市民や市外の方に賢治に興味を持ってもらうことにつながると考えられることから、市が積極的にイベント等の開催や環境整備、情報発信を行う必要があると考えられる。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	イベントの開催や環境整備、情報発信を行うことで賢治の作品や考え方に触れる機会が増大し、成果が向上すると考えられる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	国、県等の補助を最大限に活用するとともにイベント等の開催では関連団体等の協働による実行委員会形式をとっており、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内・市外ともに対象を広く設定しているため、受益機会と費用負担については公平と考えられる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	賢治のまち花巻において、市民や観光客が賢治に触れられる機会を創出するため、感染症の影響を考慮しながら賢治イベントを開催した。また、賢治を学ぶ場づくりを進めるとともに、内外へ向けて積極的に賢治情報を発信することで、「賢治さんの香りあふれるまち」への醸成が図られた。
	次年度に向けて	特に賢治イベントの開催が感染症の影響を大きく受けるものの、対策を講じながら可能な範囲で開催に努めることとし、併せて賢治を学ぶ場の提供や賢治情報の発信を継続する。